

テーマ
2

お金を借りて使い、長期間でお金を返す ～「ローン」の仕組み～

大人になったら車に乗りたいな。結婚したら自分の家が欲しいな。
一生懸命働いたら買えるかな。でも車や家は高いから、お金ってそんなにすぐには貯まらないよね。
「ローン」ってどうやって利用するんだろう。

1 大きな買い物をするとき、今すぐ必要なときは「ローン」が便利

「ローン」(loan)は、「お金を貸す」という意味で使われます。「ローンで買い物をする」とは、つまり「銀行などから お金を借りて買い物をする」ということになります。

家族で住める家を買う、進学に必要な学費を支払うなど、まとまったお金が必要なときに、手持ちのお金(貯蓄)だけでは足りないことがあります。たくさん

のお金を貯めるまでには、何年・何十年もかかってしまうけど、そんなに待てない。後から少しずつ必ず返す約束をして、先にお金を借りて必要なときにお金を使いたい。そんなときに「ローン」はとても便利です。

ただし、お金を借りて買うということは、将来の収入を見込んで、先にお金の使い方を決めてしまうことですので、慎重に考えることが必要です。

2 「ローン」で買えるのはどんな物?(ローンの種類)

「ローン」で買う代表的な物には「住宅(家やマンション)」、「自動車」などがあります。そのほか、入学金や授業料などの学費をローンで支払うこともあります。これらは、使用目的の決まったローンであることから、それぞれ「住宅ローン」、「自動車

ローン」、「教育ローン」などと呼ばれます。このほか、使用目的を特定しない「フリーローン」もあります。一般的に、目的が決まっているローンのほうが、金利が低くなっています。

主なローンの種類

名称	住宅ローン 	自動車ローン 	教育ローン 	フリーローン 
目的	家や土地・マンションを買う	自動車を買う	入学金や授業料などを支払う	自由に使える(ただし金利は高め)
一般的な返済期間	～35年	～7年	～10年	数ヶ月から10年程度まで

3 「金利」と「頭金」を考えよう

「ローン」を利用する際には「金利」と「頭金」を考慮することが大切です。ローンは、借りる金額・期間に応じて所定の利率の「金利」が付きます。これは「お金のレンタル料」のようなものです。この金利にもとづいて支払うのが「利息」です。使用目的を特定しないもの、期間が長いものは、一般的に金利は高くなるので、支払う利息は多くなります。

また、家や車をローンで買うときには、そのとき自分が持っているお金を「頭金」として払うことができます。頭金を払うことで借りるお金が減るので、利息も少なくて済みます。

この「金利」と「頭金」をしっかり考えないと、余計にたくさんのお金を後から払うことになってしまいますので、注意が必要です。



金利と頭金でこんなに違う!?

(例)



ローンで支払う場合	
2 金利3%・返済期間30年間・頭金500万円の場合… 毎月の返済額: 105,402円 30年間の総返済額: 37,944,720円	合計の支払額 42,944,720円 (一括払いとの差額 約1,294万円)
3 金利2%・返済期間30年間・頭金500万円の場合… 毎月の返済額: 92,405円 30年間の総返済額: 33,265,800円	合計の支払額 38,265,800円 (一括払いとの差額 約827万円)
4 金利3%・返済期間30年間・頭金1,500万円の場合… 毎月の返済額: 63,241円 30年間の総返済額: 22,766,760円	合計の支払額 37,766,760円 (一括払いとの差額 約777万円)
5 金利2%・返済期間30年間・頭金1,500万円の場合… 毎月の返済額: 55,443円 30年間の総返済額: 19,959,480円	合計の支払額 34,959,480円 (一括払いとの差額 約496万円)

*返済期間(毎月の返済額)によっても差が出てきます。税金、手数料等は省いて計算しています。

4 「収入」や「返済計画」などの「信用」が必要

「ローン」のお金は、誰でもいくらでも借りられるわけではありません。借りるためには「信用」が必要です。ここでいう「信用」とは、一般的な「約束を守る」や「うそをつかない」という「信用」とは少し違います。

銀行などからお金を借りるための「信用」には、その人の「支払能力」、「資産」なども必要になります。

つまり、約束どおり返済するという意志(人格)、支払いの裏づけとなる「収入(給料など)や、万が一、収入がなくなったときでも支払いが可能な資産、それらを自分できちんと管理できる能力です。これらの「信用」が十分でないと「ローン」は基本的に利用できません。

信用のある人の
4つの



Character (人格)

Capacity (支払能力)

Capital (資産)

Control (自己管理)

* Collateral (担保)



本日の学習のまとめ ～ローンと賢く付き合うために～

point
1

借りる前に本当に必要な物が考えよう

point
2

借りる前に確かな返済計画を立てよう

point
3

どこから借りるか、金利がどれくらいかを考えよう

** コラム 「ローン」を使いたい!どこに行けばいいの? **

マネープランには欠かせない「ローン」ですが、一体どこで相談すればよいのでしょうか。最も一般的なのは皆さんにも身近な「銀行」。銀行では、住宅ローンや自動車ローンなど、たくさんの「ローン」を扱っています。そのほか、ATMなどで簡単にお金を借りられる「カードローン」などのフリーローンは「クレジット会社」や「消費者金融会社」など、多くの会社が扱っていますが、それぞれ審査や金利は違いますので、「まとめ」の3つのポイントをしっかり頭に入れて、慎重に付き合うことが大切です。